

I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

<p>(1) 各学習で学んだことを通し、将来の生活や、自らの生き方、在り方について考えを深め、自らの能力や課題に気づき、主体的に課題の解決に向けた取り組みを考えて実践しようとする態度を育成する。</p> <p>(2) 地域住民や他校の児童、生徒等との交流学习を通し、一人の人間として認められる経験を積み、主体的、協同的に社会に参画しようとする態度を育成する。</p>

II 「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
<p>・社会で求められる態度や言動、及び、卒業後に関わる就労先などについての知識を深め、社会生活に適応できる人間関係形成能力や課題に直面した際の対応能力を育む。</p>	<p>・思考や他者との話し合い、意見表明、自己評価などを通して、自らの能力や課題を認め、課題解決につながる行動の実践や、改善につながる意識の向上を図る。</p>	<p>・将来の生活を想像し、思い描く生活を実現するために、主体的に社会(就労、人、生活に必要な知識)に関わろうとする意識を育む。</p>

III 「総合的な探究の時間」の単元計画の概要

目標を実現するにふさわしい探究課題	イ	普通科カレー販売に向けて		
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や学科の特徴を理解し、調べたことや話し合いを通して課題解決につながる行動を実践する。 ・自身の生活と結び付けながら生産から消費という流通を学ぶ。 			
月	主な内容		探究の過程	時数
6	・カレーに使用できそうな野菜を考え、栽培する。		課題の設定	2
7	・カレーの具材についての調査		課題の設定	4
8	教職員へのアンケートや近隣校との交流			
9	・収穫した野菜の保存方法や加工の仕方を調べる		情報の収集	2
	・カレー販売に向けた役割分担等を話し合い、計画を立てる		整理・分析	2
10	・販売時に活用できる、はぎれ布を活用した布製品と使用済みのコーヒーマシンの粉の再利用方法について調べる		情報の収集 整理・分析	2
11	・地域の施設を活用して講師と一緒にカレーの試作を行う。また、販売方法について具体的に計画する		課題の設定 整理・分析	6
12	・アンケートを実施し、結果から取り組みの改善や次に向けての意見や助言を整理する。		まとめ、表現	4

(注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号を入力すること。
 ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な学習
 イ 地域や学校の特色に応じた課題
 ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
 エ 職業や自己の進路に関する課題
 オ その他
 3 「探究の過程」の欄には、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のいずれかを入力すること。

I 学習の様子

【課題の設定】6・7月

- ・主に教科「職業」で取り組んでいる農作業、販売活動、軽作業等と関連付けて、カレー販売を計画した。普通科農園で栽培している野菜を活用したカレーを作り、教職員向けに販売をすることを目標とした。



【情報の収集】9・10月

- ・収穫した野菜の保存方法をインターネットで調べ、様々な保管期間や条件の中から冷凍と乾燥の2種類を試すこととした。
- ・カレーを販売するまでの具体的な取組として、周知の仕方や材料の調達・加工、アンケート作りなどを計画し、各自が役割を分担して取り組んだ。
- ・様々な地域で販売されているカレーの具材や味について、インターネットで調べた。



【整理・分析】11月

- ・2年生は、カレーと一緒に提供するカトラリー用の袋を、ハギレ布で制作した。また、1年生は、収穫した野菜を冷凍と乾燥に加工した上で、長期保存できる方法を教職員に質問したり、インターネットで調べたりした。
- ・カレー作りの試作を繰り返し、使用する材料や分量、調理時間などの調整を行った。販売当日は、各自が自分の役割を果たすとともに、試作で野菜を多く入れた際に味が薄くなった経験を踏まえ、カレールーの量を増やすなどの工夫を行った。



【まとめ・表現】11・12月

- ・カレー販売時に実施したアンケート結果を整理し、その内容を踏まえて、次年度に向けた改善点や、取組内容について議論を深めた。

まとめ・今後の展望

- ・辛さ、味の濃さの調整
- ・別メニュー開発
- ・先生、他、生徒、地域の方にも



II 探究活動の成果

- ・カレー販売を普段の学習やSDGsの取組と関連付けたことで、生徒が主体的に計画から実施まで取り組むことができた。
- ・学科の特色を踏まえた取組を検討し、食べる人を意識してメニューや具材を考えることで、相手を意識した活動を行うことができた。また、試作段階では、積極的に味の感想を聞きに行くなど、より良いカレーを作ろうとする主体的な様子が見られた。
- ・生徒同士でカレー販売の感想を交流する中で、次年度に向けた活発な意見交換が行われ、ポスター制作やアンケート項目など、次年度の取組の具体化につなげることができた。

III 今後に向けて

- ・生徒の関心や疑問を出発点にした探究課題を設定することができるよう、年度始めから生徒同士の話し合いの機会を設け、中心となる活動を構想し、早い段階で年間指導計画を立案する。
- ・質の高い探究的な学びを実現するため、地域や企業との連携の在り方について検討する。
- ・次年度は、これまでの取組の成果等を踏まえつつ、生徒の興味関心に基づいた探究課題を設定し、探究の質を一層深める。